

※2019/5/22付「2019 年 3 月期決算短信〔日本基準〕（連結）の一部訂正について」に基づき、数値を訂正の上、本資料を差し替えいたしました。
(2019/5/22)

決算説明資料

2019年3月期

代表取締役社長 長谷川 聡

2019年 5 月14日

© 2019 Ubiquitous AI Corporation. All rights reserved.

This presentation is for informational purposes only. Ubiquitous AI Corporation makes no warranties, express or implied, in this summary.



Index

- 2019年 3 月期 業績の概要
- セグメント及び製品分野別動向
- 2020年 3 月期の業績予想と重点取り組み
- トピックス

2019年3月期 業績の概要

2019年3月期 決算ハイライト

■ 業績予想比

(単位：百万円)

	実 績	修 正 後 業 績 予 想	増 減 額	期 初 業 績 予 想	増 減 額
売 上 高	2,406	2,362	44	2,427	△20
営 業 利 益	77	4	73	4	73
経 常 利 益	101	21	80	19	81
当 期 純 損 益	64	△29	93	△28	92

- 前期の営業黒字化に続いて、当期純利益の黒字化を達成
 - ・ 期初の売上予想に若干及ばずも、修正予想比では予算達成
 - ・ 売上原価、経費の抑制等により営業利益は予想に対し、73百万円増加
- 事業別サマリー
 - ・ コネクティビティ&セキュリティ：大型受託案件、車載セキュリティ関連案件の失注により売上未達
 - ・ 組込みソフトウェア：高速起動製品の収益が安定推移、新規引き合い、既存大口顧客ロイヤリティが好調
 - ・ ソフトウェアディストリビューション：既存顧客ロイヤリティ好調に加え、キャリアグレード製品で大口案件獲得、開発品質向上ツール製品も順調に推移、ドライバーモニタリング製品引き合いが好調
 - ・ ソフトウェアサービス：車載機器向けデータコンテンツライセンスが堅調推移、受託引き合いが好調

2019年3月期 決算ハイライト

組込み分野への注力、「**選択と集中**」により、2期連続営業黒字を達成、事業ポートフォリオの分散による安定した収益基盤の整備により、中期計画3年目の目標をほぼ達成

- ・ソフトウェアディストリビューション・ソフトウェアサービス事業の安定した収益と、組込みソフトウェア事業の収益性向上により、収益性を大幅改善
- ・エーアイコーポレーション社との合併によるシナジー強化を実現

コネクティビティ&セキュリティ事業
売上高 224百万円

組込みソフトウェア事業
売上高 460百万円

ソフトウェアディストリビューション事業
売上高 1,319百万円

ソフトウェアサービス事業
(グループ企業：エイム社)
売上高 403百万円

修正中期経営計画に対する結果

ユビキタスAIコーポレーション グループ 組込みソフトウェアNo.1ベンダーへ

**2023年3月期
までに、売上高35億円、
営業利益率10%以上、
ROE10%以上を達成**

2019年3月期
2,427(4)→**2,406(77)**
連結営業利益確保→**売上わずかに
未達も営業利益大幅増**

※ 売上（営業利益）
単位：百万円

2018年3月期
計画：2,470（▲20）
実績2,349(4)
連結営業利益確保

- 構造改革と組込みソフトウェア事業注力「選択と集中」の実施により、連結営業黒字化を実現
- 事業ポートフォリオの分散による安定した収益基盤を整備

- エーアイ社合併による自社製品、輸入製品のクロスセル、ソリューション展開加速による収益力の強化
- セキュリティ、ソフトウェア品質向上支援ツールによるIoTセキュリティソリューションの事業展開
- 海外ベンダーとのパートナーシップの強化、次世代に向けた製品発掘とイノベーション開発

2017年3月期
計画：1,520(▲97)
実績：1,124(▲286)

- M&Aによる事業規模確保
- 収益化実現に向けた構造改革とM&Aによる組込みソフトウェアへの「選択と集中」

AIなど新技術発掘、新しいイノベーションに向けた研究開発

セキュリティ/品質向上支援ツールを中心とした事業強化と次世代コネクティビティ技術の開発、提供

自社製品、技術と海外商材のプロダクトミックス、
複合ソリューション展開と技術商社機能による商圏の拡大

IoTクラウドプラットフォーム → IoTクラウドコネクティビティ

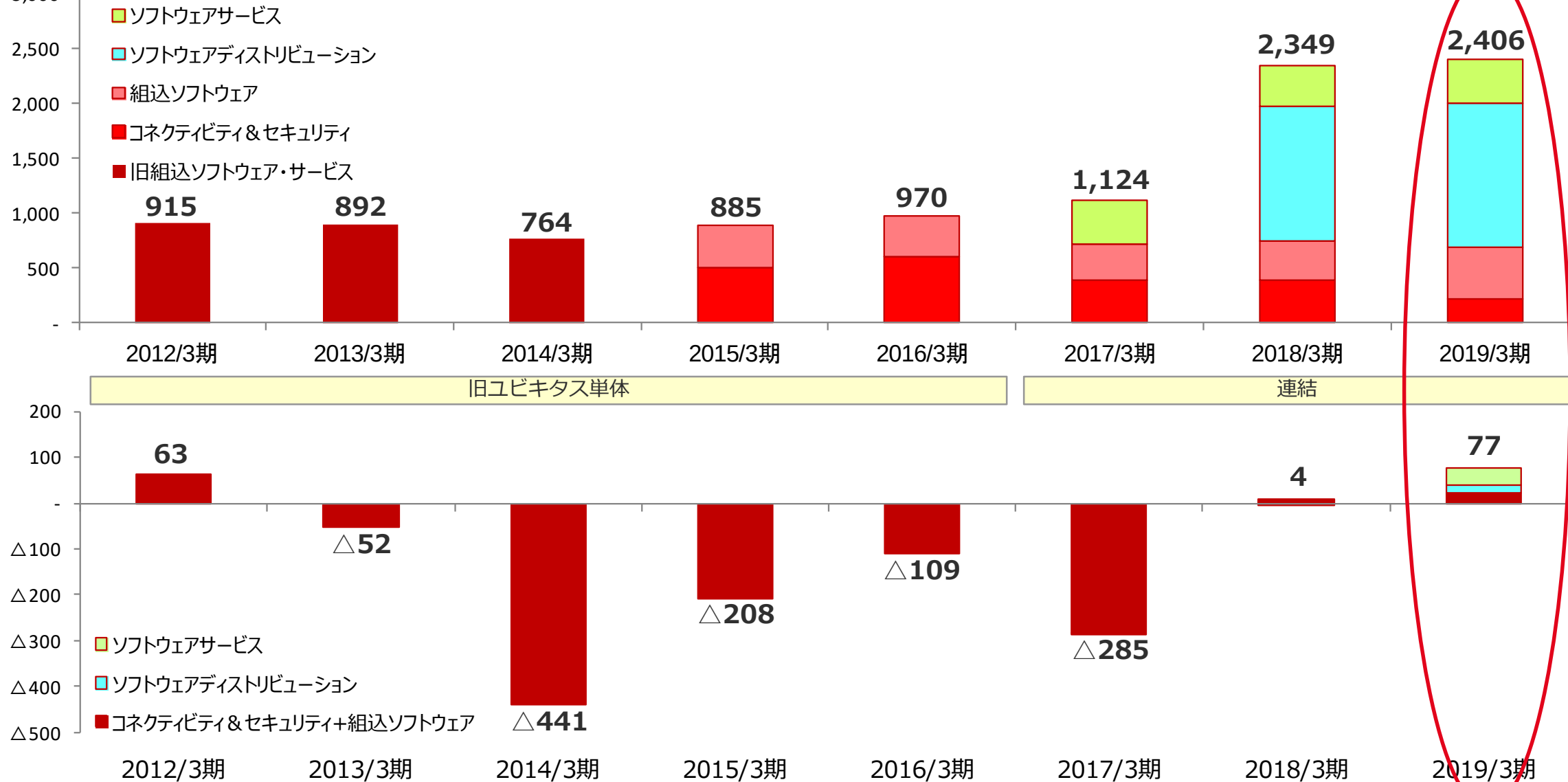
スマートエネルギー/スマートホーム → 機器のネットワーク化、セキュリティなどの高機能化と中心に対応

車載ネットワーク/システムの高速度化 + セキュリティ、認証ソリューションへの取り組み

売上高・営業損益の推移

(単位：百万円)

(注：2014/3期以前は、旧セグメントである為、一括表示しております。)



連結損益計算書

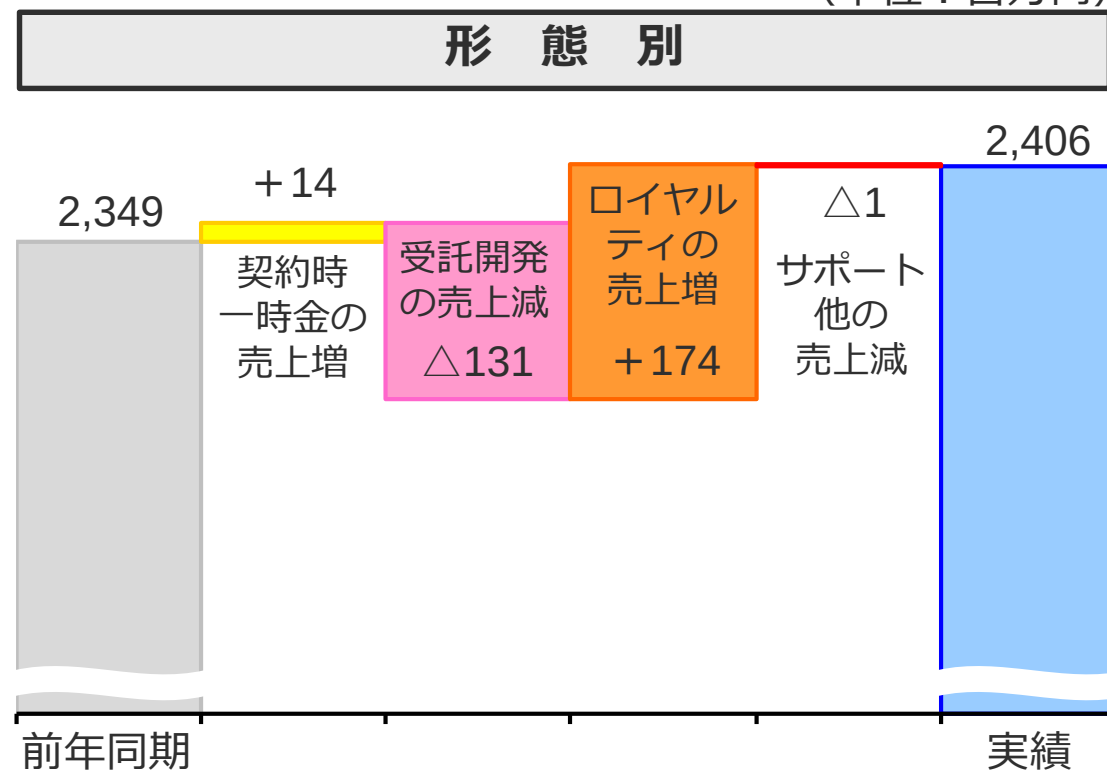
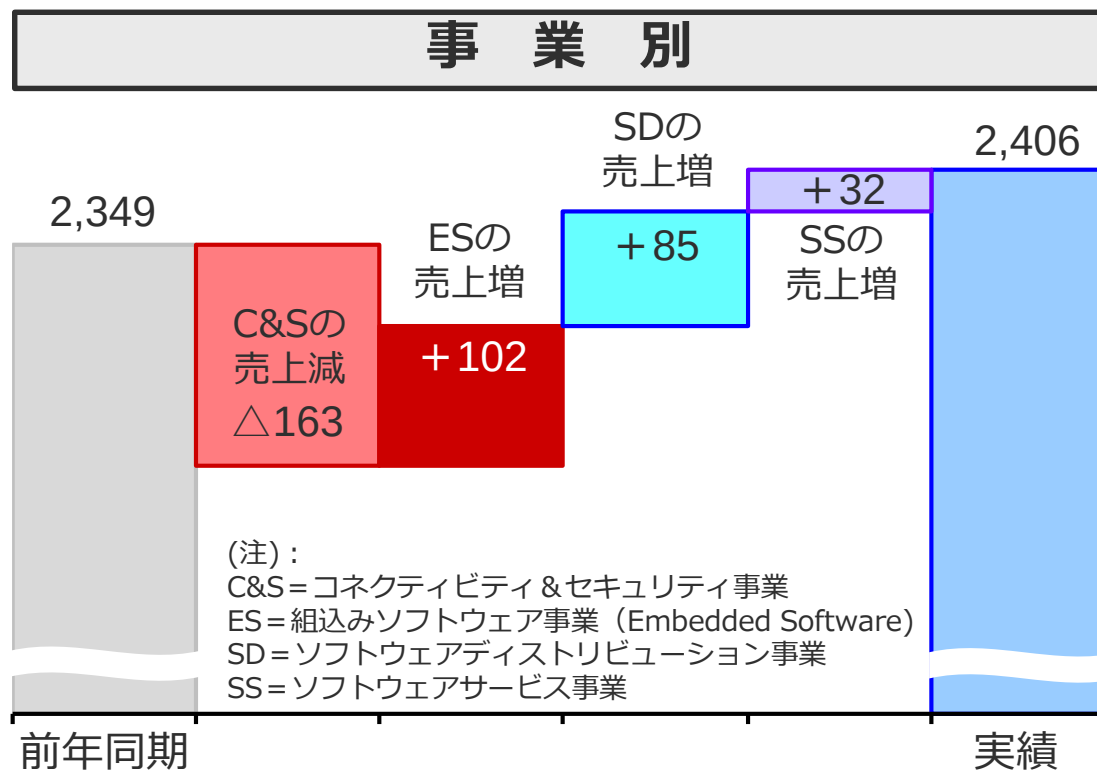
(単位：百万円)

	前年同期	2019/3期	増減
売上高	2,349	2,406	56
売上原価	1,194	1,213	19
売上総利益	1,155	1,192	37
販管費	1,151	1,115	△35
営業利益	4	77	73
営業外損益	38	23	△14
経常利益	42	101	58
特別損益	33	△1	△34
法人税等	87	35	△51
当期純利益	△11	64	75

※当期純利益：親会社株主に帰属する当期純利益

売上高の前期比増減

(単位：百万円)

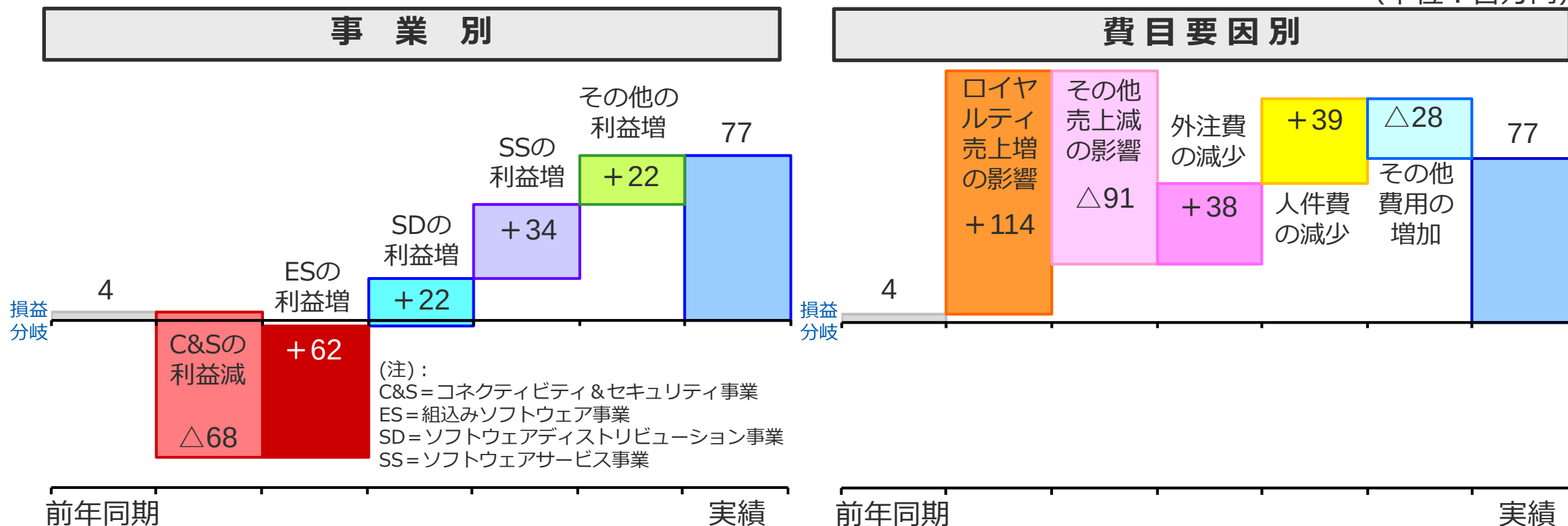


■ 売上高前期比増減要因及びポイント

- 受託開発の売上高減少を上回るロイヤリティ売上増を実現、採算性が大幅改善
- ES・SD・SS事業において、ロイヤリティ売上を中心に増加
- C&S事業において、受託開発売上中心に減少

営業利益の前期比増減

(単位：百万円)



■ 営業利益増加の主な要因

- ES、SD、SS事業においてロイヤルティ売上増加、全体的にロイヤルティ売上高の割合が増加
- 外注費・人件費を中心に費用が減少、前期に発生したM&A関連費用負担が軽減

連結貸借対照表（資産の部）

(単位：百万円)

	2018/3月末	2019/3月末	増減
現金・預金	954	1,159	204
受取手形・売掛金	685	675	△10
有価証券	400	400	-
棚卸資産	14	22	8
前払費用	60	69	8
その他流動資産	48	57	9
流動資産	2,163	2,384	220
のれん	736	526	△210
その他固定資産	383	304	△79
固定資産	1,120	831	△289
資産合計	3,284	3,215	△68

連結貸借対照表（負債・純資産の部）

(単位：百万円)

	2018/3月末	2019/3月末	増減
買掛金	185	153	△31
未払金	74	59	△15
前受金	100	110	9
その他流動負債	172	75	△96
流動負債	533	399	△134
固定負債	101	80	△21
資本金	1,470	1,482	11
資本剰余金	1,440	1,452	11
利益剰余金	△300	△236	64
その他純資産	37	37	-
純資産	2,648	2,735	87
負債・純資産合計	3,284	3,215	△68

セグメント及び 製品分野別動向

セグメント及び製品分野別の売上高

(単位：百万円)

セグメント	分野	前年同期 (連結)	2019/3期 (連結)	増減率
コネクティビティ&セキュリティ事業		387	224	△42.2
組込みソフトウェア 事業	デ ー タ ベ ー ス	89	98	9.5
	高 速 起 動	267	362	35.2
	小計	357	460	28.8
ソフトウェアディストリビューション事業		1,233	1,319	6.9
ソフトウェアサービス事業		370	403	8.7
合計		2,349	2,406	2.4

セグメント別売上及び利益

(単位：百万円)

		前年同期 (連結)	2019/3期 (連結)	増減額
コネクティビティ& セキュリティ事業	売上高	387	224	△163
	セグメント利益	△73	△142	△68
組込みソフトウェア 事業	売上高	357	460	102
	セグメント利益	102	165	62
ソフトウェア ディストリビューション事業	売上高	1,233	1,319	85
	セグメント利益	※1 △4	※1 17	22
ソフトウェアサービス 事業	売上高	370	403	32
	セグメント利益	※2 2	※2 37	34

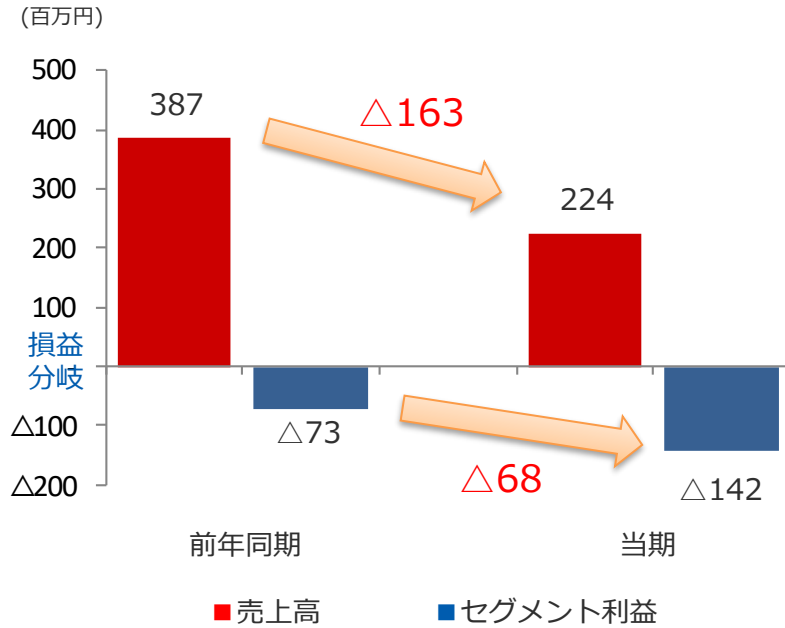
※1 旧株式会社エーアイコーポレーションの株式取得に関して生じたのれんの償却額 106百万円を含めております。

※2 株式会社エイムの株式取得に関して生じたのれんの償却額 103百万円を含めております。

コネクティビティ&セキュリティ事業



Ubiquitous
Network Framework

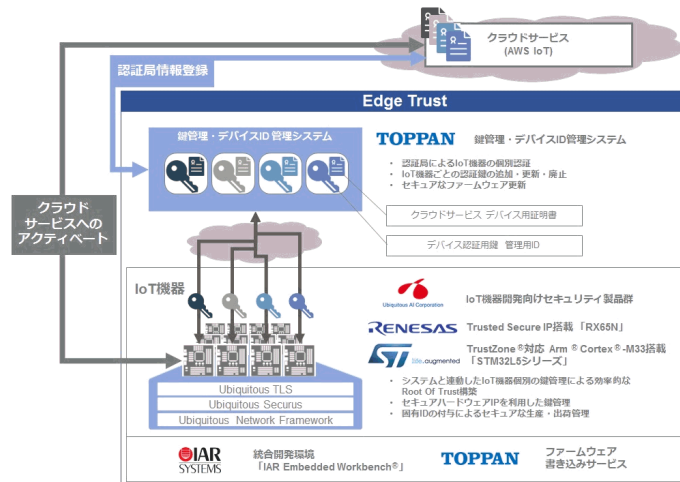


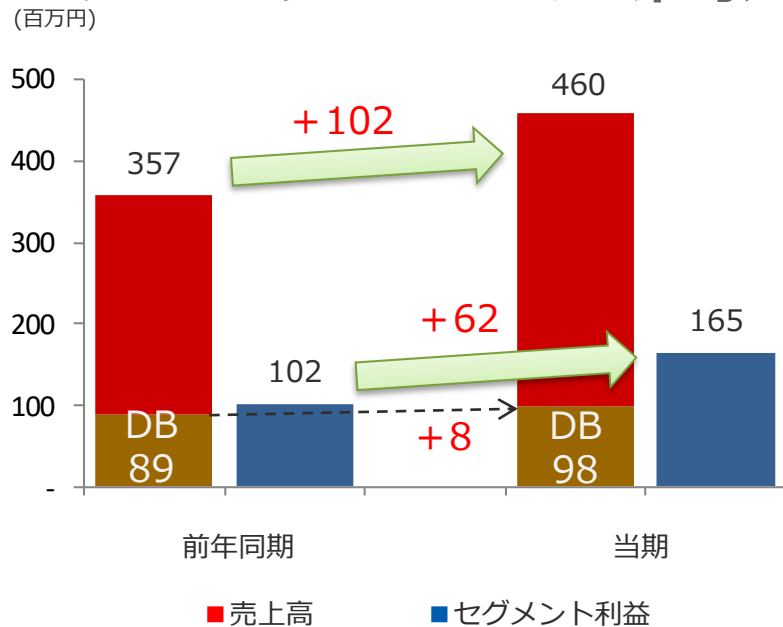
■ 当期概況

- 車載機器関連の案件で、セキュリティ関連製品「Ubiquitous DTCP-MOST」、「Ubiquitous Securus」に関する契約時一時金、ロイヤルティ売上等を計上
- スマートエネルギー関連の案件で「Ubiquitous Network Framework」に関する受託開発売上等を計上
- デジタルイメージング関連等の案件でロイヤルティ売上を計上

■ 取組方向性

- 新製品「Edge Trust」によるIoTセキュリティ分野での事業展開の加速：半導体/半導体部品メーカー、販社との連携強化、ソリューション提供によるサービスも含めた拡販展開
- ディストリビューション事業取扱い製品の一部（セキュリティ関連）、パートナーとの開発連携によるネットワーク、セキュリティを中心とした製品ラインナップの強化・充実
- 車載、産業、その他IoT市場に向けたセキュリティ関連製品の拡販活動



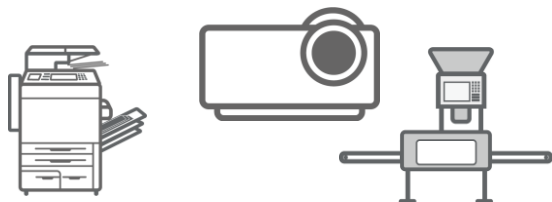


■ 当期概況

- 産業機器等の既存顧客からの追加ロイヤルティ売上が好調
- 新規顧客からの評価開発ライセンス売上などを計上

■ 取組方向性

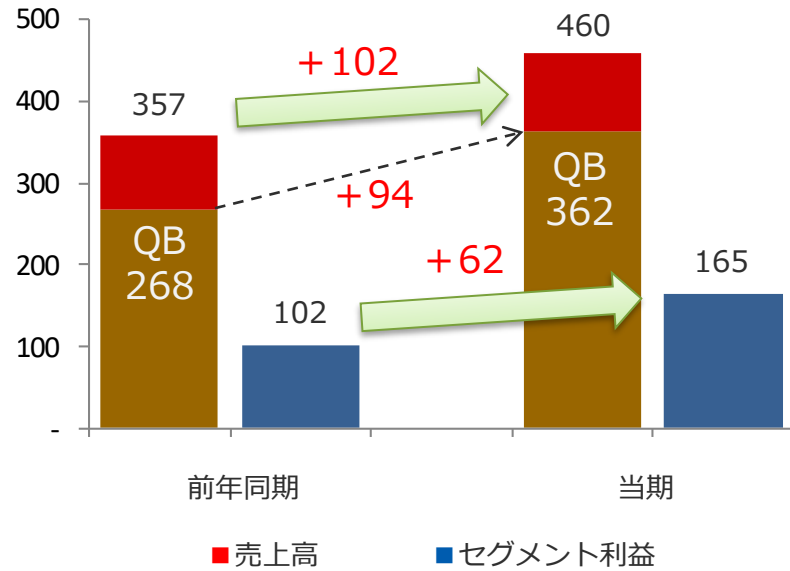
- 既存顧客のサポートによる安定収益の確保
- 車載機器、OA機器、検査機器、産業機器などに向けた拡販



※グラフは組込みソフトウェア事業全体の売上・利益と、データベース関連のみの売上となります。

組込みソフトウェア事業 高速起動関連

(百万円)



■ 当期概況

- 車載機器の既存顧客からのロイヤルティ売上が好調
- 既存顧客の海外民生機器の新製品の出荷が好調
- 車載機器向けに加えて、医療機器、産業機器など評価案件獲得と一部製品化に向けた契約時一時金、受託開発による売上を計上
- 車載機器を中心に、複数社との間で大・中規模案件の研究開発、及び商品化に向けた新規案件の受注も含めた実装を継続

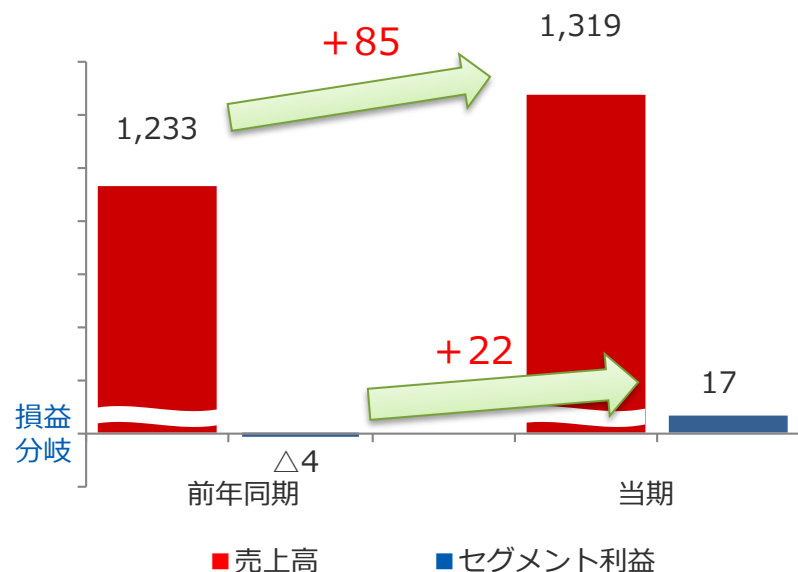
■ 取組方向性

- フィンランドのTuxera社と提携し、海外の車載機器メーカー向けに高速起動ソリューションの拡販を強化
- 電源断対応ファイルシステムや仮想化技術、セキュアブートなどの機能組み合わせなど付加価値の高いソリューション化、クロスセルを推進
- 次世代技術開発の継続

※グラフは組込みソフトウェア事業全体の売上・利益と、高速起動関連のみの売上となります。

ソフトウェア ディストリビューション事業

(百万円)



■ 当期概況

- ワイヤレス製品：車載機器、デジタルイメージングを中心に「Blue SDK」*1のロイヤルティ売上、受託開発売上等を計上
- 品質向上支援ツール製品：車載機器、医療機器等の既存顧客から「CodeSonar」*2やECU関連開発ツールなど年間ライセンスのリピー特売上及び新規顧客からの年間ライセンス及びサポート売上を計上
- キャリアグレード製品：ネットワークインフラ向けのプロトコルスタックで大口径案件獲得
- BIOS製品：ノートブックPC、OA/FA機器を中心に「Insyde H2O」*3のロイヤルティ売上、受託開発売上等を計上
- 複数の新規顧客との間で「CoDriver」*4の契約時一時金等の売上を計上
- その他、多数の取扱い製品より、新規、既存顧客からの契約時一時金、ロイヤルティ売上等を計上

■ 取組方向性

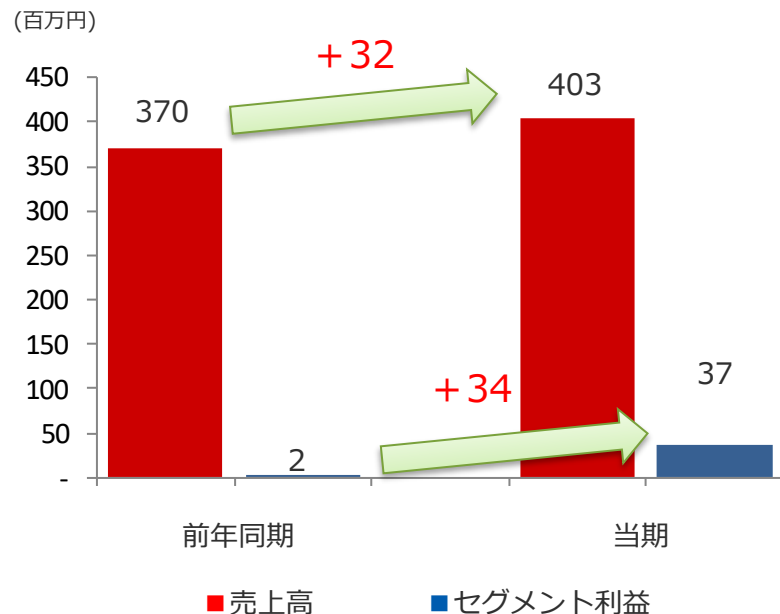
- 米国のBeyond Security社とIoT機器の脆弱性・セキュリティ検証のための新ツール「beSTORM X」を共同開発・販売開始、新たな取り組みとしてIoTセキュリティ検証サービスを推進
- 年間利用ライセンス契約により収益安定貢献の高いソフトウェア品質向上支援等のツール製品を重点的に販売促進
- 訴求力のある新規取扱い製品を拡充し、売上・利益の拡大を図る

*1 BlueSDK: Bluetoothプロトコルスタック

*2 CodeSonar: ソフトウェアの動作不具合、脆弱性をソースコードのコンパイル時に静的解析し、バグを検出するツール

*3 Insyde H2O: 「EFI/UEFI」仕様を実装したC言語ベースBIOS

*4 CoDriver: ドライバーモニタリングシステム



■ 当期概況

- 既存顧客との各種受託開発売上を計上
- 車載機器向けの「YOMIデータ」コンテンツに関するライセンス使用料売上等を計上

■ 取組方向性

- 米Gracenote社との密な連携による既存収益の継続的な確保と、協業提案による新たな取り組み
- 既存顧客・パートナー案件に加え、グループの製品・顧客関連のエンジニアリングサービス案件を軸に、グループ全体での売上シナジー実現



YOMIデータの活用例：アーティスト名ソート

アーティスト表記	YOMI
さだまさし	サタマサシ
サザンオールスターズ	サザンオールスターズ
L'Arc-en-Ciel	ラルクアンシエル
松任谷由実	マツトウヤユミ

アーティスト表記でソート		YOMIでソート	
ソート順位	アーティスト表記	ソート順位	YOMI
1	L'Arc-en-Ciel	1	サザンオールスターズ
2	サザンオールスターズ	2	さだまさし
3	さだまさし	3	松任谷由実
4	松任谷由実	4	L'Arc-en-Ciel

2020年3月期の 業績予想と重点取り組み

2020年3月期 連結業績目標

■ 業績予想比

(単位：百万円)

	2019年3月期 (実績)	2020年3月期 (目標)	増減額
売上高	2,406	2,419	12
営業利益	77	10	△67
経常利益	101	10	△91
当期純利益	64	8	△56

－ 次の成長への投資を行いつつ、黒字の定着化を目指す

- ・ 売上はほぼ横ばいながら黒字確保を優先、3期連続の営業利益、2期連続の当期利益黒字を目指す
- ・ 収益性が高まった高速起動製品と、ソフトウェアディストリビューション・ソフトウェアサービス事業の安定収益により利益を確保し、コネクティビティ&セキュリティ製品の新製品・サービス事業化による収益性強化に向けた取り組みを推進
- ・ 人件費、広告宣伝費の増加等により利益規模は減少

2020年3月期 連結業績目標

■ 事業別サマリー

◆ ソフトウェアプロダクト（新セグメント名・次頁参照）

- 自動車・IoT分野を中心とした組込み機器向けネットワーク・セキュリティ関連ソフトウェア製品の展開を推進
- IoT機器のライフサイクルマネジメントを中核とした、セキュアなIoTサービスを実現するためのソリューション「Edge Trust」の評価案件の獲得に注力
- 高速起動製品の既存顧客からの継続ロイヤルティ売上、既存顧客の次期製品への継続採用拡大、車載機器以外の案件獲得推進、Tuxera社等海外提携先と連携した海外企業向け売上拡大への期待、さらなる高速化に向けた研究開発等

◆ ソフトウェアディストリビューション事業

- ソフトウェア品質向上支援ツールの販売強化
- Beyond Security社と共同開発した新検証ツール「beSTORM X」を利用し、当社の各種プロトコルの開発経験・知見を合わせた「IoT機器のセキュリティ検証サービス」の販売に注力
- 新商材確保の継続による収支安定

◆ ソフトウェアサービス事業

- Gracenote社関連案件の継続確保と安定した受託開発案件確保

セグメント変更について

■ 2020年3月期より、以下のセグメントの変更を実施

- 「コネクティビティ & セキュリティ事業」と「組込みソフトウェア事業」を、自社開発製品に関するセグメントとして「ソフトウェアプロダクト事業」に統合

<旧セグメント>

セグメント	分野
組込みソフトウェア事業	データベース関連
	高速起動関連
ソフトウェアディストリビューション事業	
ソフトウェアサービス事業	



<新セグメント>

ソフトウェアプロダクト事業
ソフトウェアディストリビューション事業
ソフトウェアサービス事業

セグメント別売上及び利益

(単位：百万円)

		前年同期 (連結)	2020/3期 (連結)	増減額
ソフトウェアプロダクト事業	売上高	684	615	△69
	セグメント利益	22	8	△14
ソフトウェア ディストリビューション事業	売上高	1,319	1,377	58
	セグメント利益	※1 17	※1 -	△17
ソフトウェアサービス事業	売上高	403	426	23
	セグメント利益	※2 37	※2 2	△35

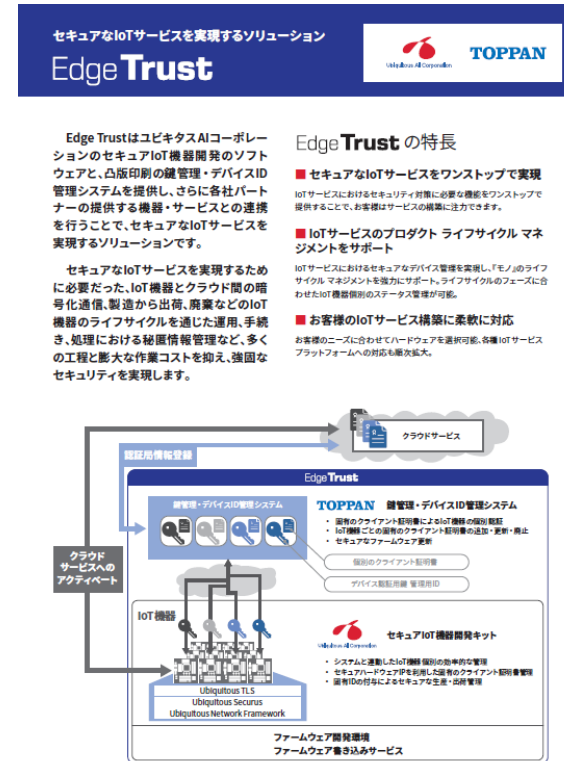
※1 旧株式会社エーアイコーポレーションの株式取得に関して生じたのれんの償却額 106百万円を含めております。

※2 株式会社エイムの株式取得に関して生じたのれんの償却額 103百万円を含めております。

トピックス

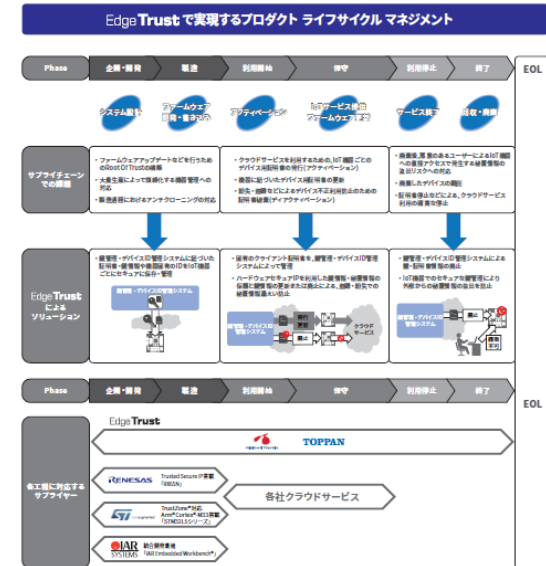
「Edge Trust」の販売開始

- セキュアな外部からのIoTサービスを実現するためのソリューションを、凸版印刷社との協業により実現
 - ユビキタスAIコーポレーションのセキュアIoT機器開発のソフトウェアと、凸版印刷社の鍵管理・デバイスID管理システムを提供
 - IoTサービスにおいて必要となる、複雑・難解なセキュリティ対策に必要な機能をワンストップで実現
 - **2019年4月1日より販売開始**
- パートナーエコシステムより、サプライチェーンにおける開発・製造から利用、廃棄までのすべてのプロセスでセキュリティ対策が可能に
 - パートナー各社とのソリューション連携により、IoT機器の秘匿情報やファームウェアなどのセキュアな取り扱いを実現
 - 凸版印刷社、ルネサスエレクトロニクス社と協業し、トラステッドセキュアIP搭載マイコンRX65Nに対応したソリューションを提供



Edge Trust

- ▶ セキュアなIoTサービスを実現するために
- ▶ パートナー各社と連携して
- ▶ プロダクトライフサイクルにおける
- ▶ 課題をワンストップで解決します。



TOPPAN

RENESAS



海外パートナーとの共同開発による新製品の実現と、新たな取り組みとして「IoTセキュリティ検証サービス」の提供を開始

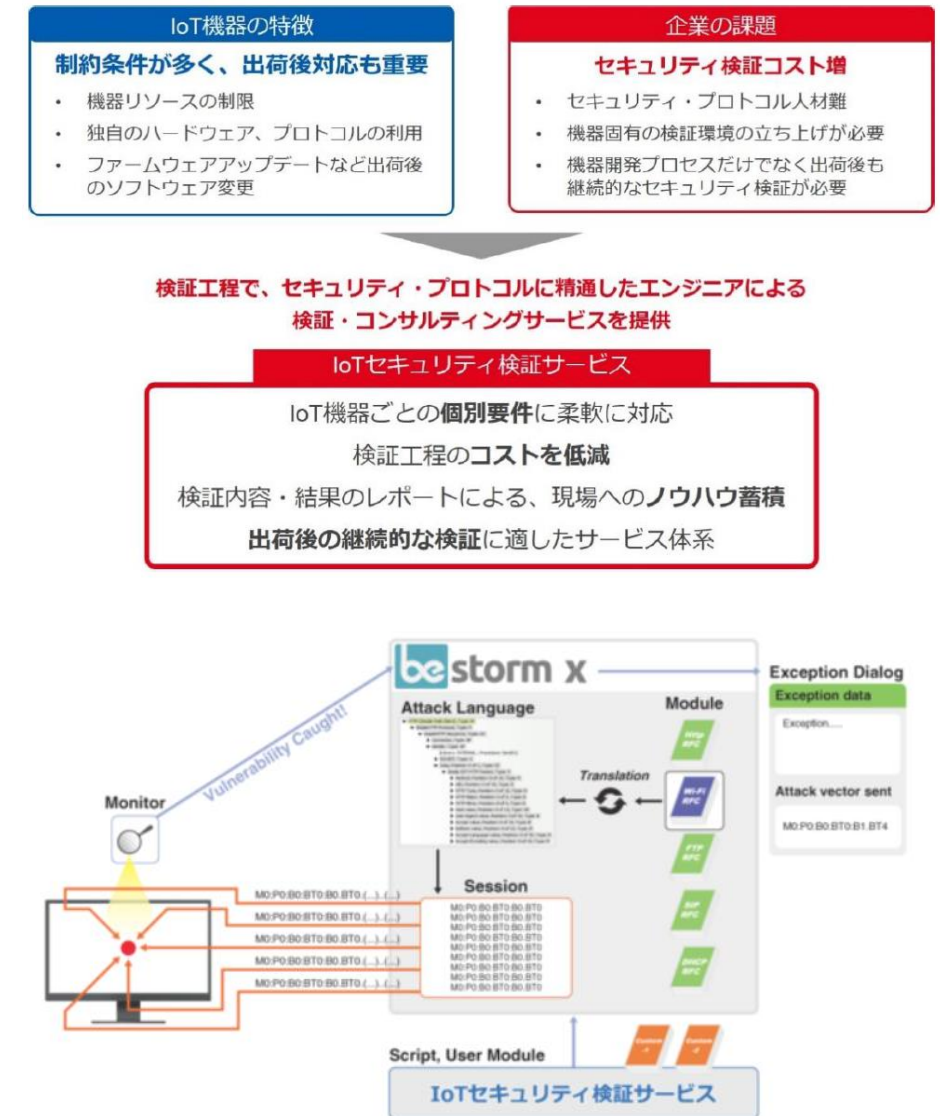
■ 米国のBeyond Security社との共同開発により、IoT機器の脆弱性・セキュリティ検証ツール「BeSTORM X」の製品化を実現

- 新たに発生する脅威やユースケース、通信プロトコルなど、各IoT機器固有の仕様に応じたテストシナリオが利用可能、製品開発における検証工程のコスト低減や、製品出荷後の脆弱性予防などの検証が可能に

■ 「IoTセキュリティ検証サービス」への新たな取り組み

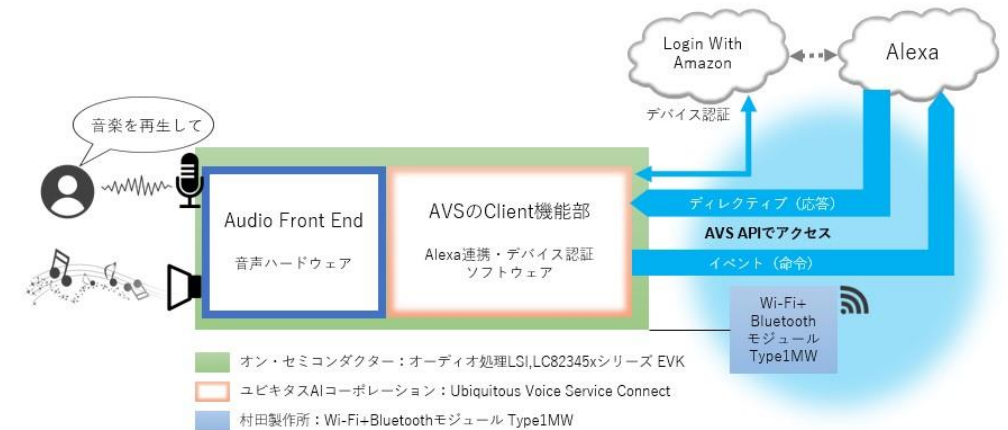
- IoT機器メーカーの機器のセキュリティ検証に必要な、「機器に応じた検証環境構築」「検証実施」「レポート作成」までの全行程をカバーする「IoTセキュリティ検証サービス」の提供を、本製品と当社の各種プロトコルの開発経験・知見の組み合わせにより、新たな取り組みとして開始

■ 2019年4月よりサービス含めて販売開始



「Ubiquitous Voice Service Connect」製品化

- Amazon Alexaとの通信を可能にして、スマートホーム機器などにクラウドベースの音声サービス機能搭載を実現する、「Ubiquitous Voice Service Connect」を製品化、2019年9月より販売開始予定
 - MCU（マイコン）向けに音声入力インターフェースとスピーカーから構成される音声ハードウェア（Audio Front End）と連携し、簡単かつ省リソースでAmazon Alexaとの通信が可能
 - 既存のソリューションではコードサイズ、電力消費により実現が難しかった、身の回りのあらゆる機器へのAlexa搭載を可能とし、音声サービス提供を実現するソリューション
 - オン・セミコンダクターのArm® Cortex®-M3をベースとしたオーディオ処理LSI（LC82345xシリーズ）と、村田製作所社のWi-Fi+Bluetooth対応モジュールType1MWを組み合わせたリファレンスデザインに採用、2019年9月からオン・セミコンダクターより提供開始予定



Appendix

2019年3月期 第4四半期 開示一覧

発表日		プレスリリース
第4四半期	1月 8日	■ ユビキタスAIコーポレーションとTuxera社が提携 ～IVI、クラスタ、ADAS、およびEDRソリューションの起動時間の改善を中心とし、世界の自動車システムに高速でのコールドブートソリューションを提供～
	2月 5日	■ ユビキタスAIコーポレーション、Linux/Android高速起動ソリューション「Ubiquitous QuickBoot」累計出荷数 2,000万本を突破！ ～車載情報機器に加え、コンシューマー向け機器などで高速起動のニーズが拡大～
	3月20日	■ ユビキタスAIコーポレーション、画像処理用AIを搭載した組込み機器の開発期間を大幅に短縮するIoT機器開発用ソリューションの販売と、無償評価パッケージの提供を開始 ～リアルタイムOS、ミドルウェアなどを統合し、短期間での評価・開発が可能～
	3月27日	■ ユビキタスAIコーポレーションと凸版印刷、ルネサスと協業、トラステッドセキュアIP搭載マイコンRX65Nに対応したセキュアIoTサービス開発ソリューション「Edge Trust」を4月1日より提供開始
2020年3月期 第1四半期 (参考)	4月 3日	■ ユビキタスAIコーポレーション、組込み機器にクラウドベースの音声サービスAmazon Alexaを搭載するためのソフトウェア開発キット「Ubiquitous Voice Service Connect」を9月に販売開始 ～第1弾としてオン・セミコンダクターのオーディオ処理LSI（LC82345xシリーズ）に対応～
	4月18日	■ ユビキタスAIコーポレーション、IoT機器に最適化したセキュリティ検証サービスの提供を開始 ～政府調達や各種認証に必要なセキュリティ要件を低コストで満たせるよう検証工程を支援～
	4月25日	■ ユビキタスAIコーポレーション、TOPPERS第3世代カーネル統合仕様準拠製品のラインナップを拡充 ～マルチプロセッサおよびメモリ保護/時間保護に対応～
	5月14日	■ ユビキタスAIコーポレーションが取り扱うJungo社の「CoDriver」が、ドライバーモニタリングシステムとして初めてRGB-IRカメラに対応 ～照明条件の厳しい夜間でも眼鏡着用者の視線を検知でき、用途が大幅に拡大～

Connecting the Future



Ubiquitous AI Corporation